

# 同志社国際高等学校

## 持続可能な社会を担うグローバル人材育成プログラム —環境先進国に学び世界に提言—

### 【構想の概要】

1年生必修科目「Global Understanding Skills (Basic)」を設置し、持続可能な社会について環境先進国の実例を学習する。2年生選択科目「Global Understanding Skills I」では、資源の有効活用や循環運用を、海外実地研修で学習する。継続履修する3年生選択科目「Global Understanding Skills II」では、現地での学習を発表し、持続可能社会の実現に向けた方策を、国際機関や地域社会に提案する。



( )内は自由選択科目、その他の括弧内は備考欄に説明のある科目

教科	科目	高1	高2		高3		備考
			自然科学系	人文社会科学系	自然科学系	人文社会科学系	
宗教	聖書	1	1	1	1		
	聖書講読	(2)	(2)	(3)	(3)		
	宗教学	(2)	(2)	(3)	(3)		
国語	国語総合	4	(2)	(4)	(2)	(2)	①は必要のある者のみ履修
	現代文B		2	2	2	3	
	古典B		2	2	2	2	
日本語	日本語I	(8)(4)	(2)	(2)			必要のある者のみ履修
	日本語II		(2)	(2)			
	日本語III			(2)	(2)		
地理歴史	世界史A		2				
	世界史B			2	3		2年次および3年次で自然科学系は2単位、人文社会科学系は5単位を必修(注記参照)
	日本史A		(2)	(2)	(3)		
	地理A		2	(2)	(3)		
	地理B			(2)	(3)		
	日本史研究				(3)	(3)	
	世界史研究				(3)	(3)	
地域研究(周辺)				(2)	(2)		
公民	政治・経済	2					
	倫理	2					
	現代社会	(2)					①は必要のある者のみ履修
	現代の政治・経済		(2)	(2)			
数学	国際政治研究				(2)	(2)	
	経済研究				(3)	(3)	
	数学I	3			(3)	(3)	
	数学II		4	4			
	数学III				5		
	数学A	2					
	数学B		2			(2)	
数学演習		(2)			(3)	(3)	
数学研究				(2)	(2)		

- 注記 i. 自然科学系については、「世界史A」(2単位)を必修とし、さらに「日本史A」(2単位)、「地理A」(2単位)から1科目を必修とする。  
ii. 人文社会科学系については、「世界史B」(5単位)を必修とし、さらに「日本史B」(5単位)、「地理B」(5単位)から1科目を必修とする。

教科	科目	高1	高2		高3		備考
			自然科学系	人文社会科学系	自然科学系	人文社会科学系	
理科	化学基礎	3					
	化学		(2)	(2)	(2)	(2)	
	選択化学				(2)	(2)	
	物理基礎		3	3			自然科学系は「物理」、「生物」のいずれかを必修
	物理				4	(3)	(3)
保健体育	生物基礎		2	2			
	生物				4	(3)	(3)
	体育基礎				(3)	(3)	
	体育	2	2	2	3	3	
	保健		1	1	1	1	
芸術	スポーツパフォーマンス		(2)	(2)	(2)	(2)	
	スポーツ学				(2)	(2)	
	音楽I	(2)					
	音楽II		(2)	(2)			
	芸術音楽				(2)	(2)	
外国語	美術I	(2)					1年次で、1科目を必修
	美術II		(2)	(2)			
	芸術美術				(2)	(2)	
	書道I	(2)					
	書道II		(2)	(2)			
情報	芸術書道				(2)	(2)	
	コミュニケーション英語I	4					
	コミュニケーション英語II		4	4			
	コミュニケーション英語III				4	4	
	英語表現I	2					
	英語表現II		2	2	2	2	
	English elective	(2)	(2)	(2)	(3)	(3)	
家庭	ドイツ語	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	
	フランス語	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	
	スペイン語	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	
	中国語	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	
	韓国・朝鮮語	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	
	家庭基礎				2	2	
	選択家庭		(2)	(2)			
情報	食と文化				(2)	(2)	
	情報科学	2					
	コンピュータリテラシー				(2)	(2)	
	Global Understanding Skills (Basic)	1					
	その他	1	2.2	2.2	0.3	0.3	
	Global Understanding Skills I		(2)	(2)			
	Global Understanding Skills II				(2)	(2)	
任意選択科目	心理学				(2)	(2)	
	哲学				(2)	(2)	
	環境学				(2)	(2)	
	知の研究		(2)	(2)			
	ホームレーム	1	1	1	1	1	
	必修科目単位数	32	30.2	30.2	25.3	25.3	
	選択科目単位数	2	4	4	7	7	
総単位数	34	34.2	34.2	32.3	32.3		

## 教育課程表や時間割上の工夫、学校設定科目としての「Global Understanding Skills」

本校では、教育課程の中で、1年生は必修科目として1単位（週1時間）、2・3年生では選択科目として「Global Understanding Skills」（2単位）という科目を任意設置科目として設定した。任意設置科目として設定することで、教科を超えて複数の教員がチームティーチングで担当することになり、この5年間で、宗教科、国語科、社会科、理科、数学科、英語科、第二外国語科の教員がこの科目を担当し、実際に授業を行った。教員同士、意見が異なることも少なくないが、話し合いで解決するプロセスも含め、本校では生徒とも共有している。そうすることで生徒たちは、異なる立場、意見が存在することを理解し、自分の考えを深めることができ、また評価の際にも複数の教員の視点で見ることにより客観的な評価が可能になる。また、本校のテーマである環境問題、環境政策について理解するには、理科の知識、政策を可能にする法や制度、それを生んだ地理、歴史的背景、制度設計のためのインセンティブ設定など経済学の知識等社会科の知識、そしてリサーチには英語科や国語科で学ぶスキルも不可欠であり、複数教科の教員によるチームティーチングは、教員のチームワーク、そしてそれぞれの教員の成長にとって大きな意味がある。また生徒の普段の学習とSGH科目との接続、さらにSGHを全校的な取り組みにするという点においても重要な意義があった。

## 成果と課題

生徒たちはどの過程もおろそかにせず、成果をあげた。3年間受講した生徒たちの振り返りのレポートにあった、「社会の問題の複雑さを理解できた」「学ぶことが楽しいとわかった」「GUSは高校生活のハイライト」「（フィールドワークで）人生が変わった」等はとても嬉しい言葉である。

多様なバックグラウンド、学習歴をもつ生徒が在籍する本校では、今回はそれぞれの生徒が自由に振り返りレポートを作成するという形を取ったが、目標をどのように設定していくか、成果エビデンスをどのように収集するかは今後の継続課題である。評価に関しては他教科と同様、レポートやプレゼンテーション、試験などで細かく評価し、学期ごとの

総合評価を出したが、独自のまた客観的な評価を行うために、大学教員のアドバイスをもらう等、生徒にとってより良い方法をさらに模索していくべきであると認識している。さらに、このプログラムを通じて様々な地方自治体、国際機関、企業の方々との出会いがあり、多くを学ぶ機会となっただけでなく、こうした方々から生徒の活動に対して多くの励まし、アドバイス、評価を頂いた。また、成果の普及に関しては、成果報告会の開催、報告冊子の作成、本校ウェブサイトを通じて随時実施している。

## 大学との連携と今後の展望

同志社大学教員による講義の機会も多く、教員、生徒が大学教員から気軽にアドバイスをもらうことができる点で、本校は大変恵まれている。生徒たちはSGHの取り組みを通し、高校段階から高度な学習に取り組み、より進路を意識できるようになり、大学でもリーダーシップを発揮している。このプログラムで育った生徒たちが「すべての人が幸せに暮らせる、持続可能な社会」を実現するグローバル・リーダーになることを願いながら、同志社国際高校の良さ、そして本SGHの経験を生かし、新しいことにも積極的に挑戦していきたい。

OECD 東京センター副所長樋口厚志氏と

